



東証1部 証券コード 3116

2020年度（2021年3月期）

# 第3四半期 決算説明会

---

開催日：2021年2月2日

# 目次

- 1. 2020年度第3四半期 決算状況**
- 2. 2020年度通期 業績予想**
- 3. 参考情報**

# 目次

**1. 2020年度第3四半期 決算状況**

2. 2020年度通期 業績予想

3. 参考情報

# スクリプト

- ◆ 笛田でございます。
- ◆ 本日は、お忙しい中、当社の2020年度第3四半期決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆ はじめに、2020年度第3四半期の決算状況、  
続いて、通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆ それでは、2020年度第3四半期の決算状況について  
ご説明いたします。

# 1-1) 2020年度第3四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	19年度 第3四半期実績		20年度 第3四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	10,581	100.0%	9,236	100.0%	△1,344	△12.7%
営業利益	399	3.8%	338	3.7%	△60	△15.2%
税引前利益	409	3.9%	333	3.6%	△76	△18.6%
当期利益*	175	1.7%	124	1.3%	△51	△29.1%

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益	94円25銭	66円73銭	△27円52銭	
為替レート	USドル	109円	106円	△3円
	1-0	121円	122円	+1円

売上収益

- 主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減収の一方、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

営業利益

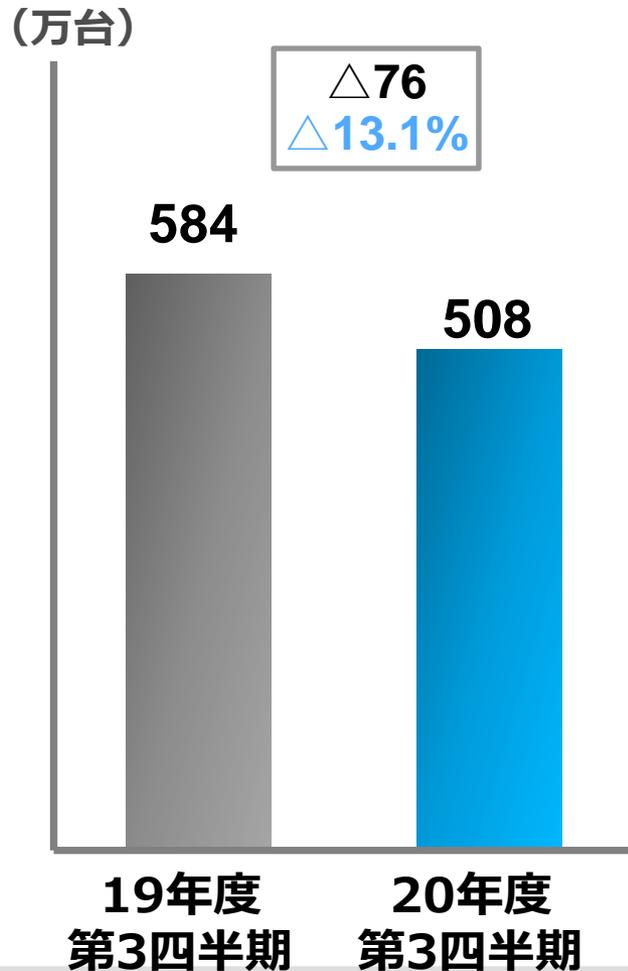
- グローバルでの需要回復に加え諸経費効率化等の収益確保策により10-12月累計では前年同期比で増益

# スクリプト

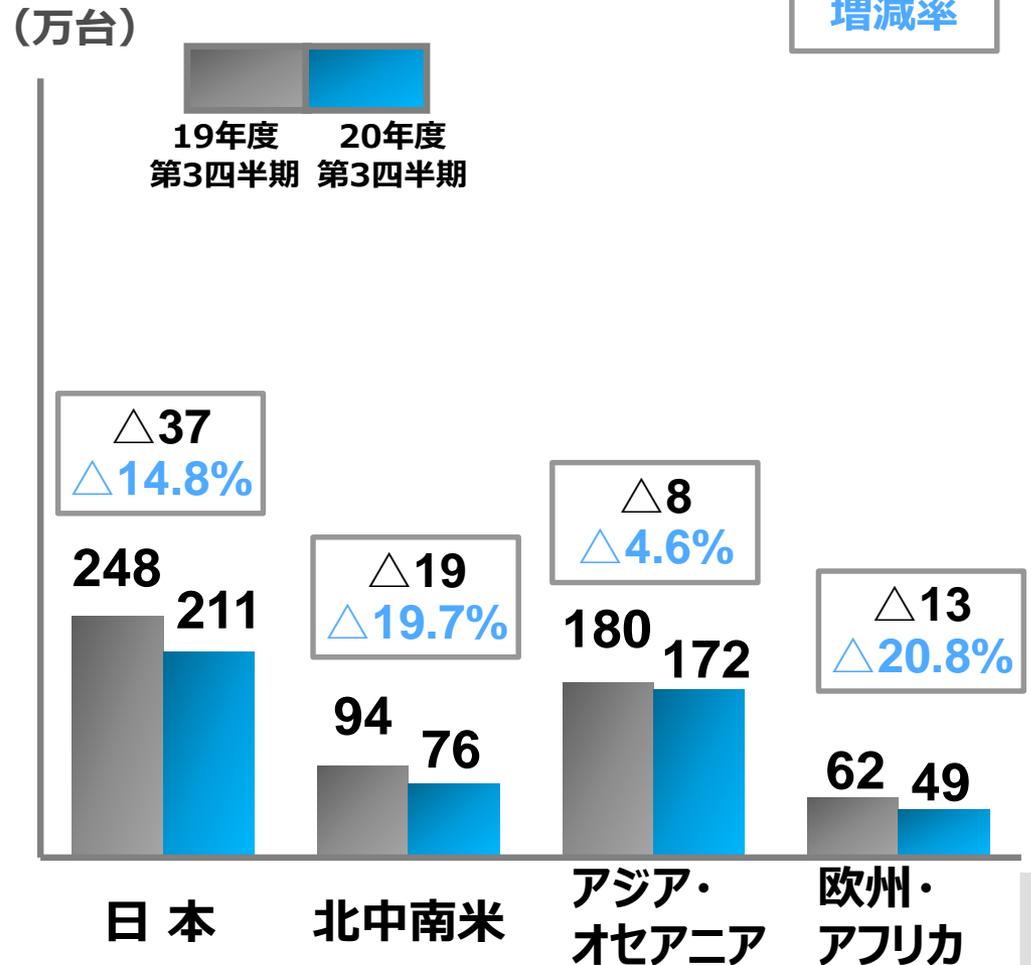
- ◆ 売上収益は、前期比1,344億円減少の9,236億円。
- ◆ 営業利益は、前期比60億円減少の338億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比76億円減少の333億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、  
前期比 51億円減少の124億円となりました。
  
- ◆ 為替レートは、1ドル106円、1ユーロ122円でございます。  
なお、前年同期からの為替影響につきましては、  
売上収益でマイナス136億円、営業利益はマイナス4億円減少する  
方向に効いております。

# 1-2) 2020年度第3四半期 決算状況 地域別シート生産台数

## 連結全体



## セグメント別



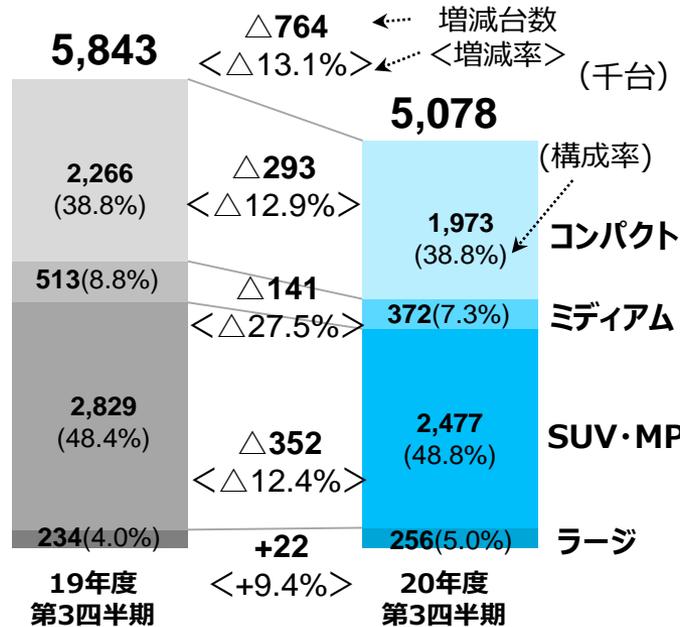
# スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシート生産台数ですが、連結全体では、前期比マイナス76万台の508万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

# 1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

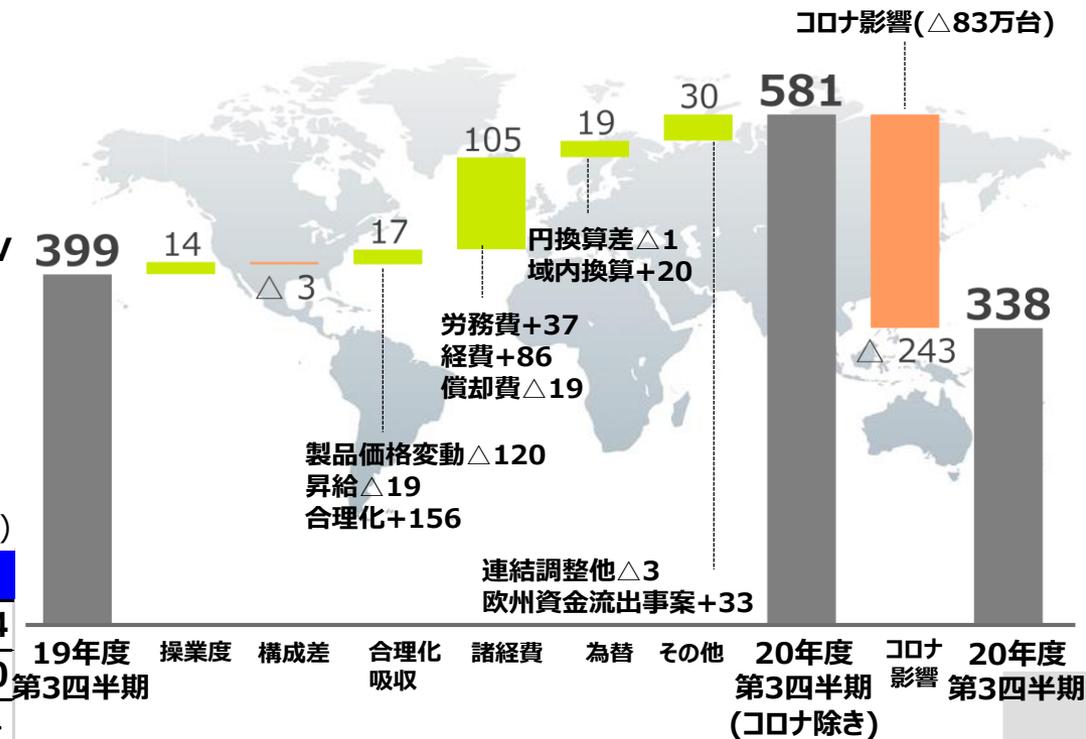
主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施しコロナ除きでは増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	10,581	9,236	△ 1,344
営業利益	399	338	△ 60
営業利益率	3.8%	3.7%	-

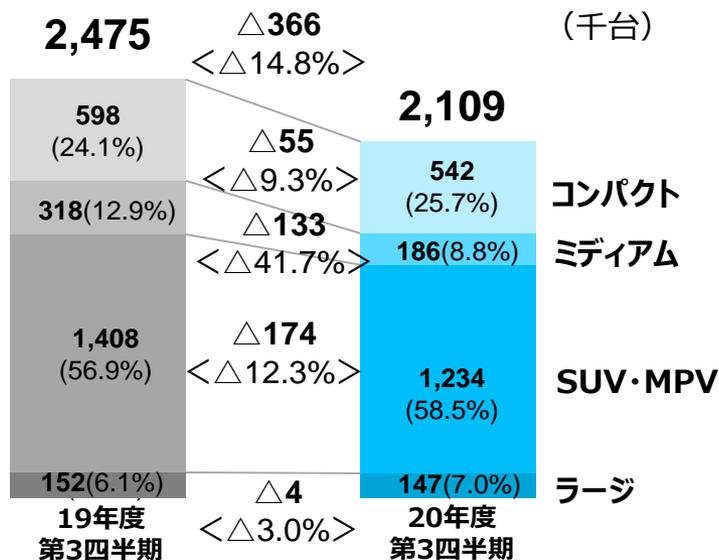
# スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比マイナス76万台の508万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,344億円減少の9,236億円。
- ◆営業利益は、  
主に第1四半期でのコロナ影響による減益はあるものの、  
諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施し、  
新型コロナウイルスの影響による減益要因を除いて増益、  
当影響を織り込んでも、338億円の営業黒字を確保いたしました。
- ◆なお、新型コロナウイルスによる減益影響は  
マイナス243億円でございますが、主な内容は、  
減産影響や雇用維持による労務費負担などでございます。

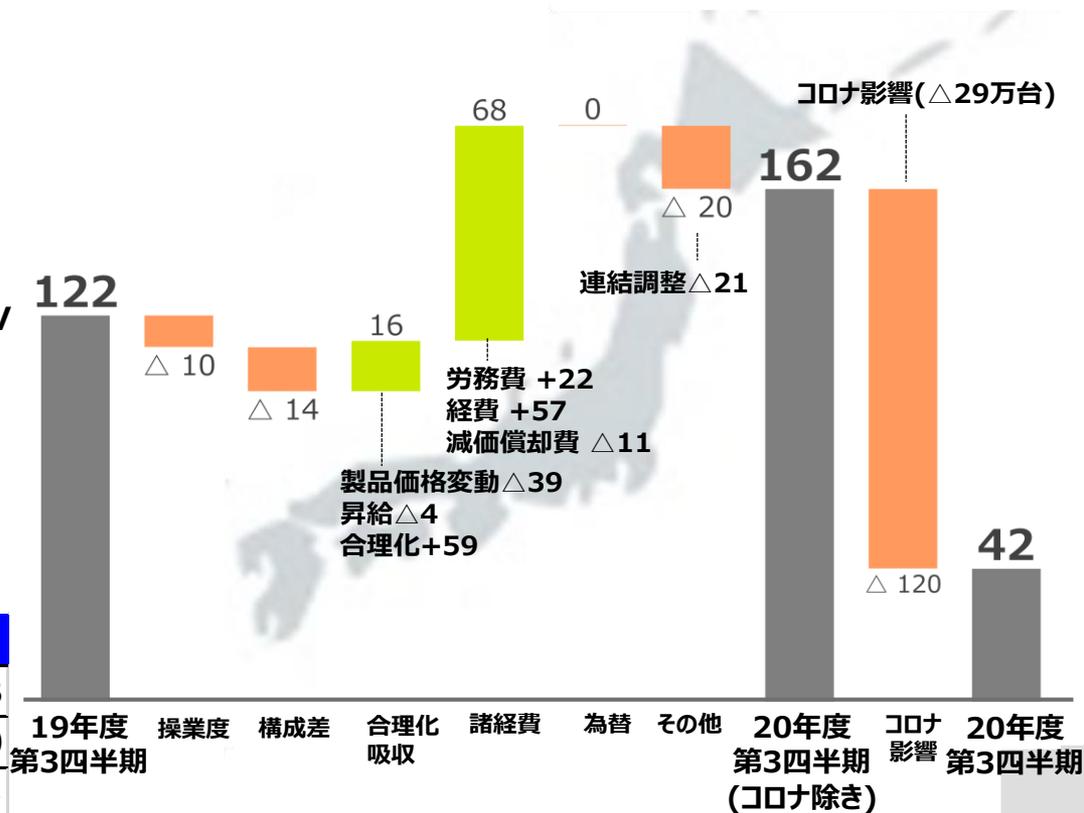
# 1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減などの諸経費の効率化によりコロナ除きでは増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	5,826	5,113	△713
営業利益	122	42	△79
営業利益率	2.1%	0.8%	-

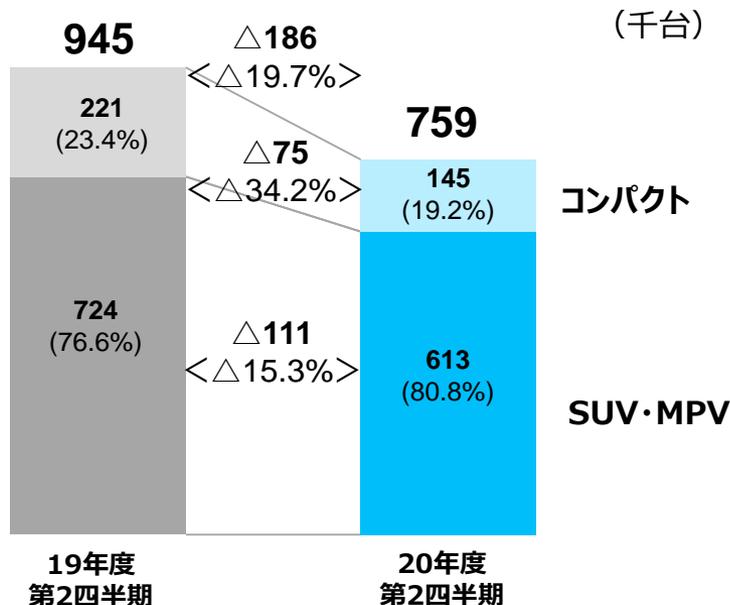
# スクリプト

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス37万台の211万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比713億円減少の5,113億円。
- ◆営業利益は、  
主に第1四半期でのコロナ影響による減益はありますが、  
ITツールの活用・テレワーク拡充など働き方の見直しによる労働時間の短縮や経費低減などの諸経費の効率化によりコロナ影響除きでは増益となりました。

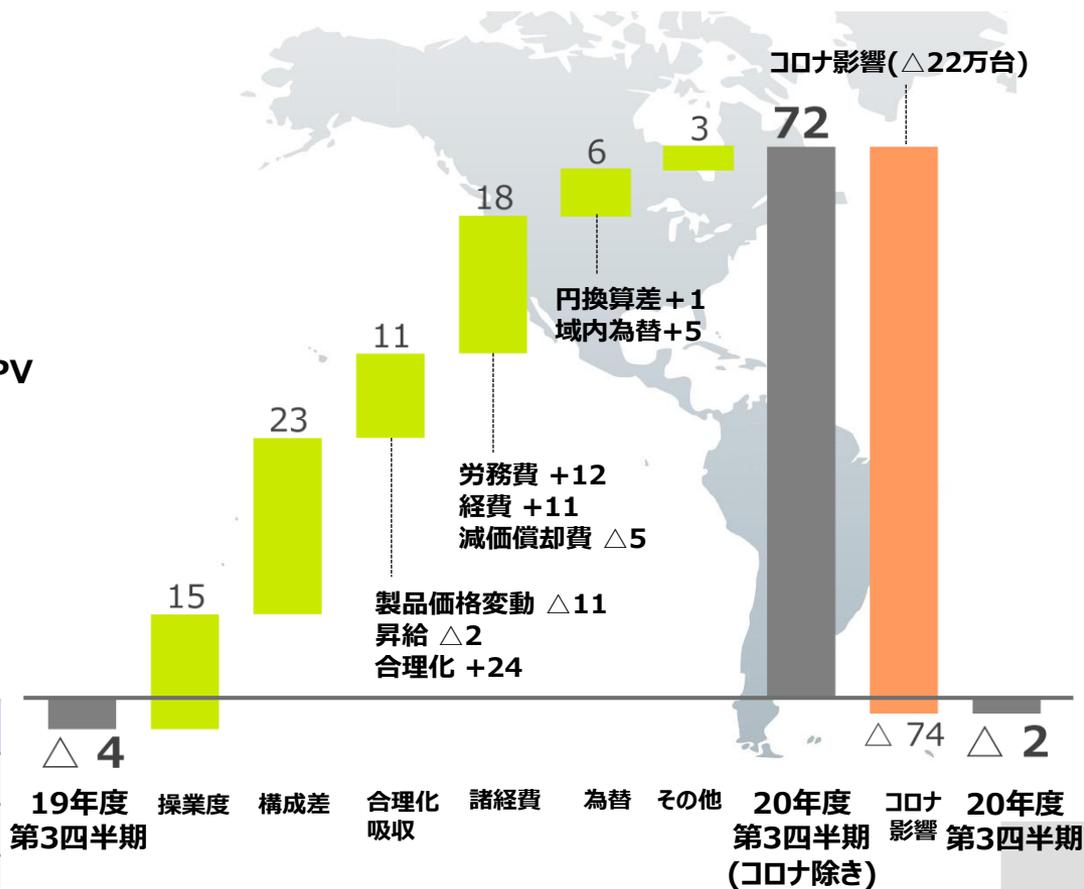
# 1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

北米での新製品効果や諸経費の効率化などにより、コロナ除きでは着実に収益回復

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



## 当期の経営成績

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	2,104	1,742	△362
営業利益	△4	△2	1
営業利益率	△0.2%	△0.2%	-

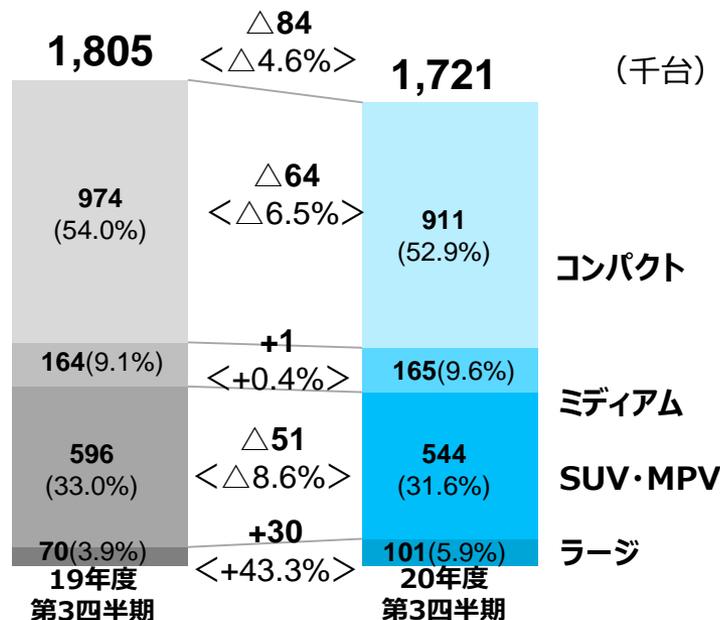
# スクリプト

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス19万台の76万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比362億円減少の1,742億円。
- ◆営業利益は、  
昨年モデルチェンジした北米での新製品効果に加え、  
諸経費の効率化などにより、  
新型コロナウイルスによる減益影響を除いて黒字化、  
当影響を含めても、増益となりました。

# 1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 アジア・セアニア 売上収益・営業利益

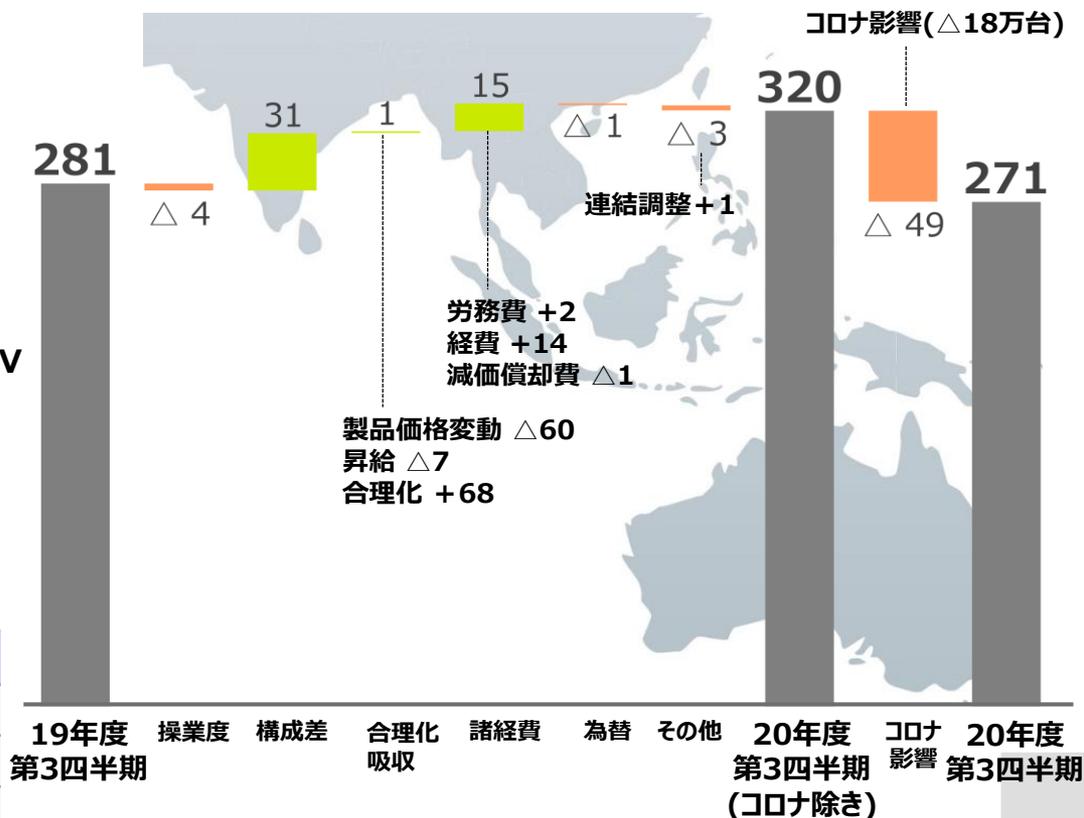
アセアン各国でのコロナ影響により減益ではあるものの、中国での新製品効果や諸経費の効率化などによりコロナ除きでは増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



## 当期の経営成績

(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	2,695	2,387	△308
営業利益	281	271	△9
営業利益率	10.4%	11.4%	-

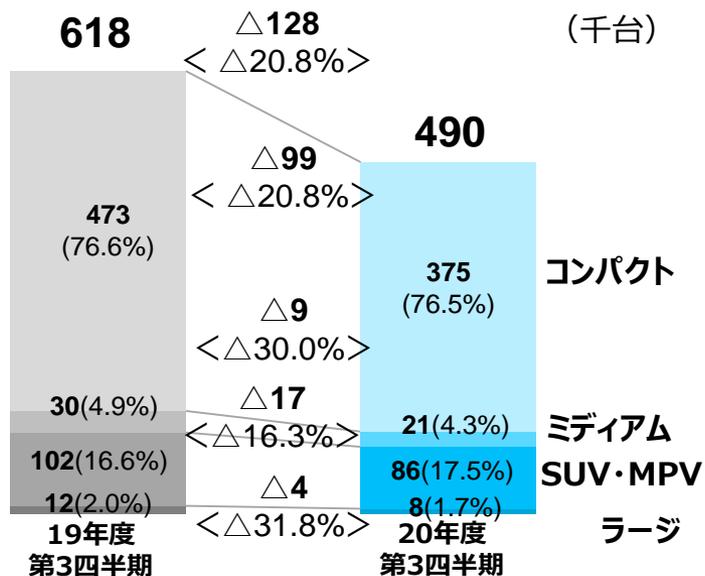
# スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、中国での増産はあったものの、アセアン各国やインドでの減産により、前期比マイナス8万台の172万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比308億円減少の2,387億円。
- ◆営業利益は、アセアン各国でのコロナ影響により減益ではあるものの中国での新製品効果や、諸経費の効率化などにより、新型コロナウイルスによる減益影響を除いては増益となりました。

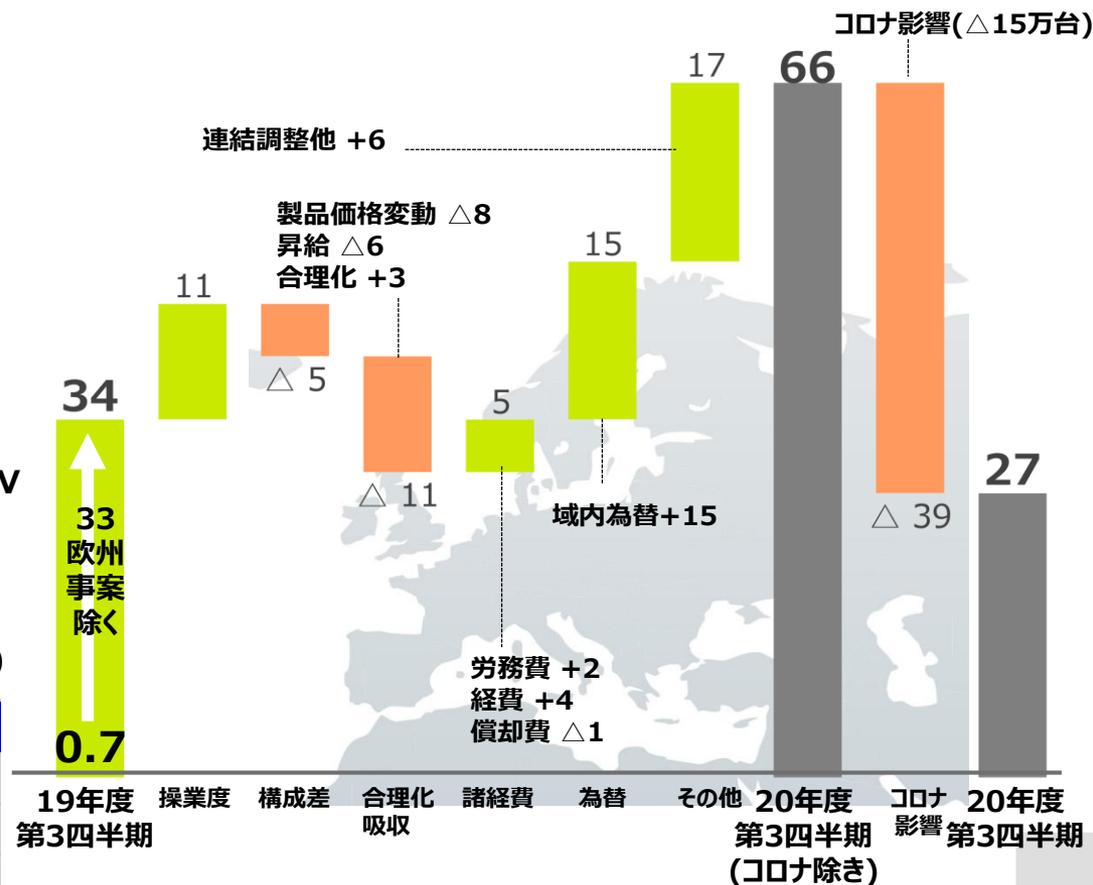
# 1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や為替影響などによりコロナ除きでは増益

## 台数・車種構成の変化



## 営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



## 当期の経営成績

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	661	570	△ 90
営業利益	0.7	27	26
営業利益率	0.1%	4.8%	-

# スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、  
前年比マイナス13万台の49万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比90億円減少の570億円。
- ◆営業利益は、  
主に第1四半期での新型コロナウイルスによる減産影響等により減益となりましたが、諸経費の効率化や為替影響などにより当影響を除いては増益となりました。

# 目次

1. 2020年度第3四半期 決算状況

**2. 2020年度通期 業績予想**

3. 参考情報

◆ 続きまして、2020年度 通期業績予想についてご説明いたします。

## 2-1) 2020年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	19年度 通期実績		20年度 通期予想		増減		20年度通期予想 (2Q公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	13,726	100.0%	12,800	100.0%	△926	△6.7%	12,400	100.0%
営業利益	477	3.5%	470	3.7%	△7	△1.6%	360	2.9%
税引前利益	480	3.5%	460	3.6%	△20	△4.3%	350	2.8%
当期利益*	247	1.8%	210	1.6%	△37	△15.3%	140	1.1%

\*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益	132円88銭	112円40銭	△20円48銭	74円93銭	
為替レート	USドル	109円	105円	△4円	106円
	1-0	121円	123円	+2円	121円

### 売上収益

- 主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減産影響により減収ではあるものの、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

### 営業利益

- 下期は需要回復や全社を挙げた合理化、諸経費の効率化などにより増益となる見込みであり、通期では、ほぼ前期並みの利益を確保

# スクリプト

- ◆売上収益は、前期比926億円減少の1兆2,800億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比7億円減少の470億円。
- ◆税引前利益は、前期比20億円減少の460億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比37億円減少の210億円をそれぞれ予想しております。
- ◆なお、直近の業績動向と、今後の台数予想等を勘案し、前回公表より修正しておりますが、詳細は後ほどご説明いたします。
- ◆為替レートは、1ドル105円、1ユーロ123円を前提としております。

## 2-2) 2020年度通期 業績予想 前提条件について

生産台数

トヨタ・レクサスブランド 830万台  
※第2四半期時点 820万台

リスク

新型コロナウイルス・半導体不足による  
リスク等を織り込み

為替レート  
(1-3月)

USドル : 100円  
ユーロ : 125円

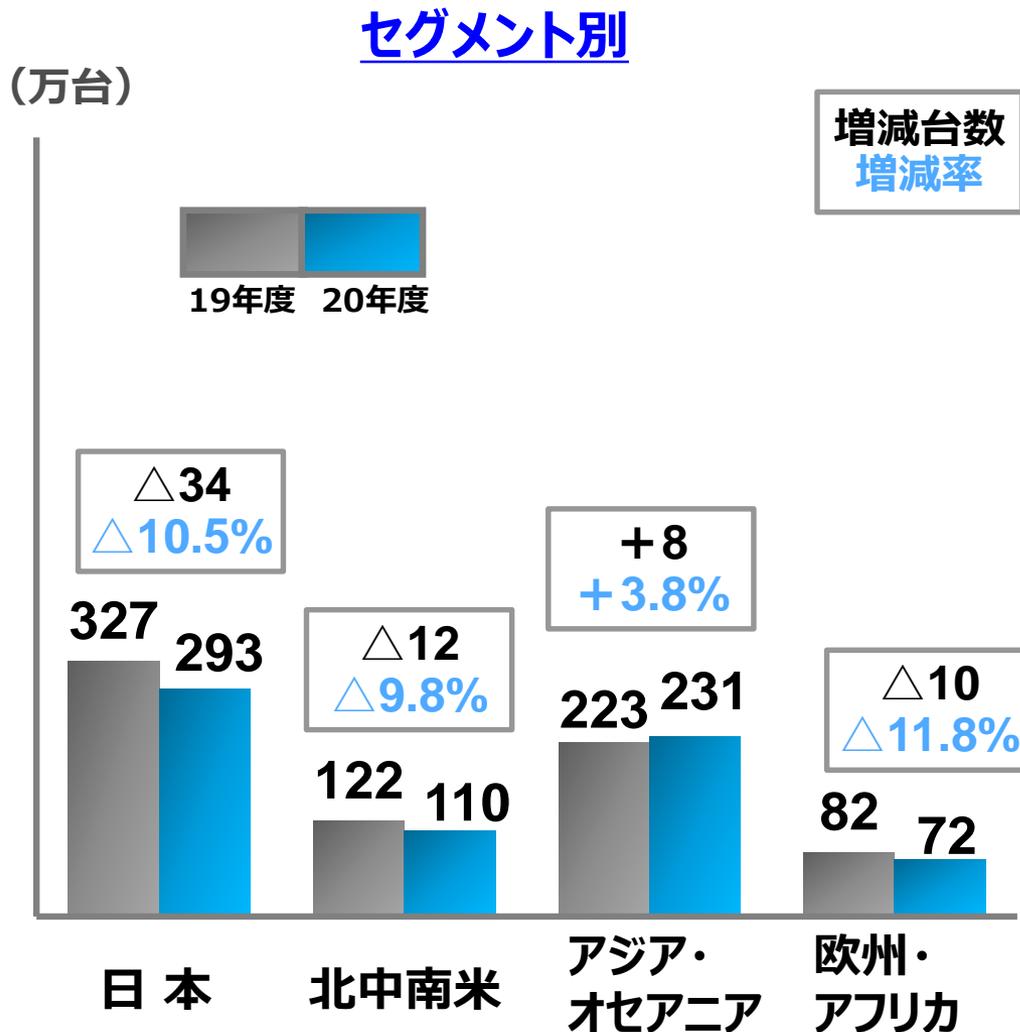
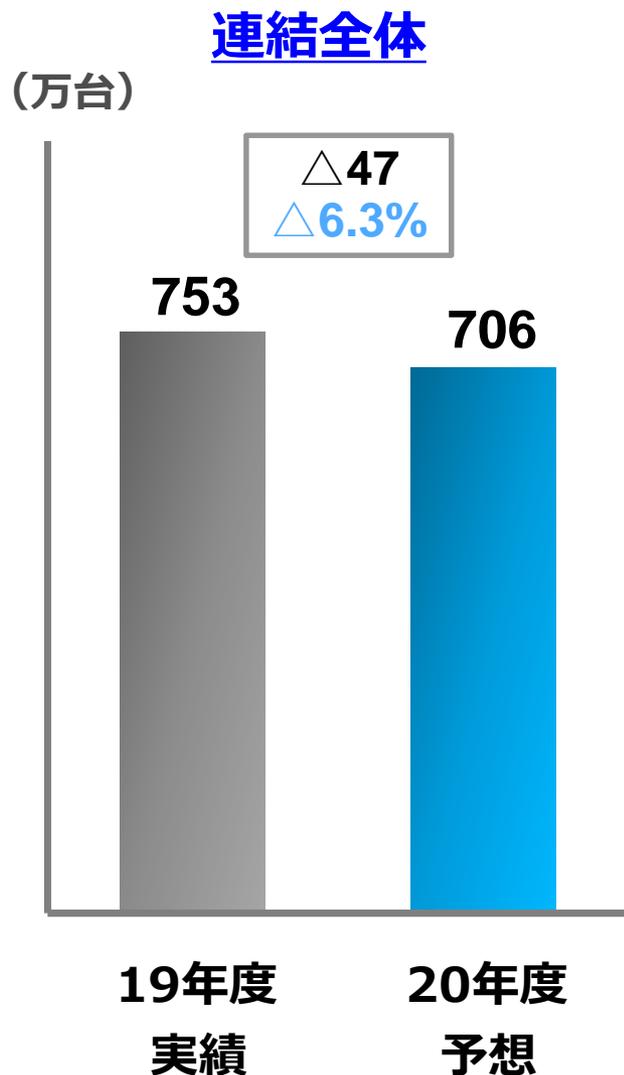
# スクリプト

◆なお、2020年度の業績予想の前提条件につきましては  
ご覧の通りとなっております。

生産台数は トヨタ・レクサスブランドの合計で830万台、  
リスクとして、新型コロナウイルスの影響および半導体不足による影響を  
織り込んでおります。

1~3月の為替レートは、1ドル100円、1ユーロ125円でございます。

## 2-3) 2020年度通期 業績予想 地域別シート生産台数



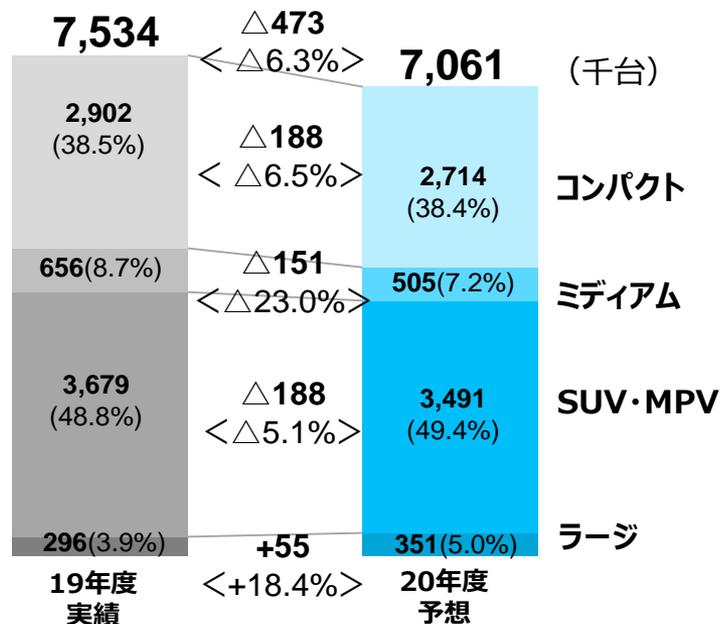
# スクリプト

- ◆次に、シート生産台数ですが、  
連結全体では、前期比マイナス47万台の706万台と  
予想しております。
- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、  
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

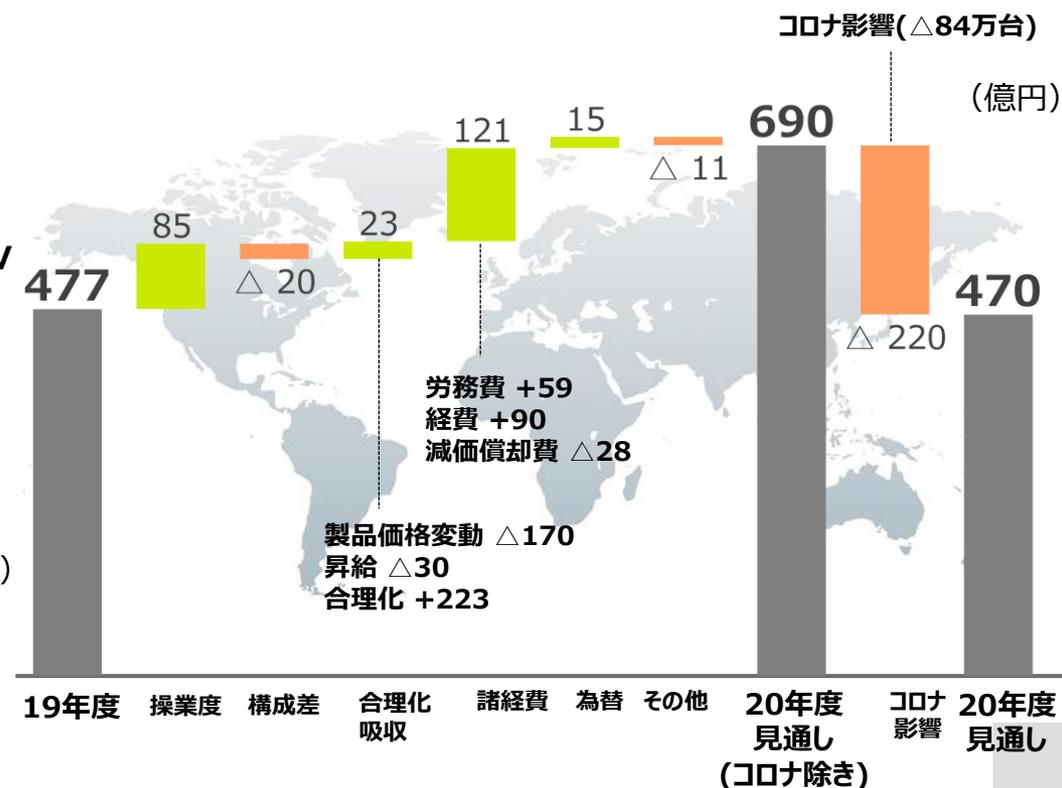
## 2-4) 2020年度通期 業績予想 連結 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益はあるものの、  
全社を挙げた合理化や諸経費の効率化などにより、ほぼ前年並みとなる見込み

### 台数・車種構成の変化



### 営業利益の増減解析 (前期比)



### 当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	13,726	12,800	△926
営業利益	477	470	△7
営業利益率	3.5%	3.7%	-

# スクリプト

◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。

◆台数・車種構成の変化ですが、  
ラージを除く全セグメントでの減産を見込んでおり、  
前期比マイナス47万台の706万台となる見通しです。

◆売上収益は、前期比926億円減少の1兆2,800億円。

◆営業利益は、  
新型コロナウイルスによる減産状況下での、全社を挙げた合理化や  
諸経費の効率化などにより、ほぼ前年並みの470億円となる  
見込みですが、新型コロナウイルスによる減益影響を除けば、690億円と  
想定しており、収益力は着実に向上しているものと考えております。

## 2-5) 2020年度通期 業績予想 第2四半期 公表値との差異

日本及びアジア・オセアニア地域での需要回復や、合理化・諸経費の効率化など更なる収益向上策を織り込み、通期業績予想を上方修正

### 台数・車種構成の変化

2Q公表時	差異	3Q公表時	車種
6,937	+124 <+1.8%>	7,061	(千台)
2,703 (39.0%)	+11 <+0.4%>	2,714 (38.4%)	コンパクト
484(7.0%)	+21 <+4.4%>	505(7.2%)	ミディアム
3,403 (49.1%)	+88 <+2.6%>	3,491 (49.4%)	SUV・MPV
347(5.0%)	+3 <+1.0%>	351(5.0%)	ラージ

### 当期の経営成績

(億円)

	2Q公表時	3Q公表時	増減
売上収益	12,400	12,800	400
営業利益	360	470	110
営業利益率	2.9%	3.7%	-

### 営業利益の増減解析

(億円)

	2Q公表時	3Q公表時	差異	内容
19年度実績	477	477	-	
操業度	△224	△170	+54	・増産影響
構成差	△114	△75	+39	・効率的な増産対応 ・SUV比率増加 他
合理化吸収	74	79	+5	
諸経費	104	121	+17	・更なる効率化
為替	11	15	+4	
その他	32	23	△9	
20年度予想	360	470	110	

# スクリプト

- ◆次に、第2四半期に公表いたしました、営業利益見通し360億円と、今回の見通し470億円の差異についてご説明させていただきます。
- ◆特に日本やアセアンにおける需要が、第2四半期時点の想定より回復していることに加え、このような急激な需要変動に対する効率的な増産対応、あるいは、SUV比率の増加等により増益に寄与するものと見込んでいます。
- ◆また、減産状況下で生まれたリソースや時間を、人材育成を含めた生産現場での改善活動に充当し、集中的に活動を進めたことによる生産性向上、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減など、諸経費の効率化などの収益確保策を更に進めることで、増益に寄与するものと見込んでおります。

## 2-6) 2020年度通期 業績予想 (上・下別)

### 売上収益

(億円)

	2020年度		
	上期	下期	通期
日本	3,042	4,058	7,100
北中南米	989	1,511	2,500
アジア・オセアニア	1,449	1,751	3,200
欧州・アフリカ	319	481	800
連結全体	5,454	7,346	12,800

### 営業利益

(億円)

	2020年度					
	上期		下期		通期	
日本	△68	△2.3%	138	3.4%	70	1.0%
北中南米	△28	△2.9%	63	4.2%	35	1.4%
アジア・オセアニア	138	9.6%	182	10.4%	320	10.0%
欧州・アフリカ	△5	△1.7%	50	10.5%	45	5.6%
連結全体	36	0.7%	434	5.9%	470	3.7%

# スクリプト

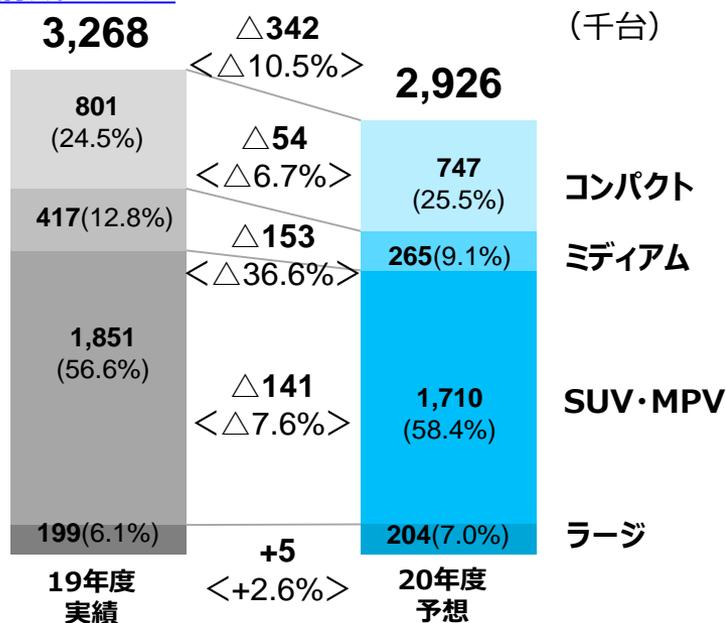
- ◆なお、上・下別の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

# 2-7) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

## 日本

合理化や諸経費の効率化などによる増益要因はあるが、コロナ影響により減益の見込み

### 台数・車種構成の変化



### 当期の経営成績

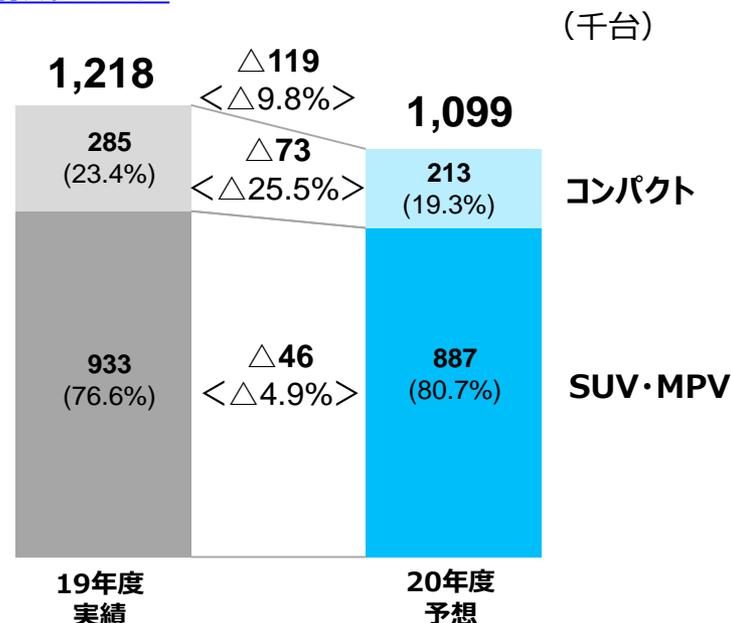
	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	7,683	7,100	△583
営業利益	102	70	△32
営業利益率	1.3%	1.0%	-

(億円)

## 北中南米

コロナ影響による減産影響はあるが、諸経費の効率化やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見込み

### 台数・車種構成の変化



### 当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	2,729	2,500	△229
営業利益	8	35	26
営業利益率	0.3%	1.4%	-

(億円)

# スクリプト

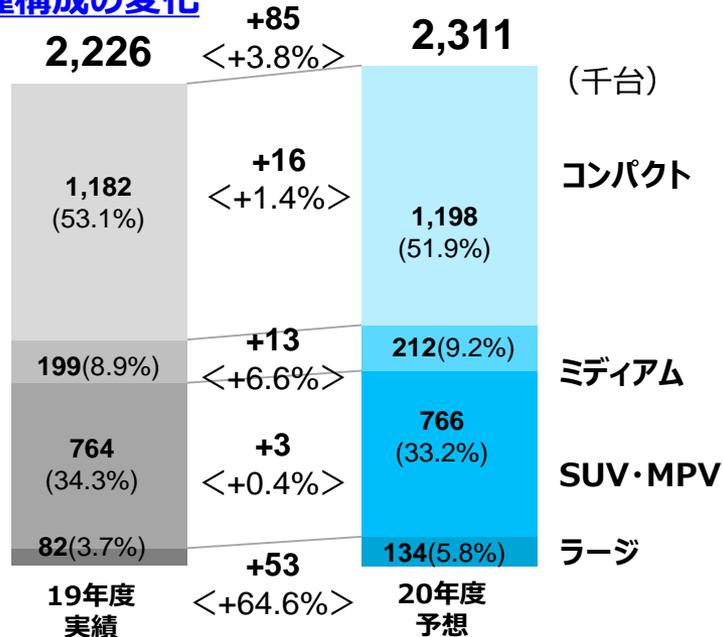
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。まず、日本ですが、台数は、前期比マイナス34万台の、293万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比583億円減少の7,100億円。
- ◆営業利益は、  
合理化や諸経費の効率化などによる増益要因はあるものの、  
新型コロナウイルスによる減産影響などにより、  
前期比32億円減少の70億円となる見込みです。
  
- ◆次に、北中南米ですが、  
台数は、前期比マイナス12万台の110万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比229億円減少の2,500億円。
- ◆営業利益は、新型コロナウイルスによる減産影響はありますが、  
諸経費の効率化やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより、  
前期比26億円増加の、35億円となる見込みです。

## 2-7) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

### アジア・オセアニア

中国での増産影響はあるが、アセアン各国でのコロナ影響などにより減益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

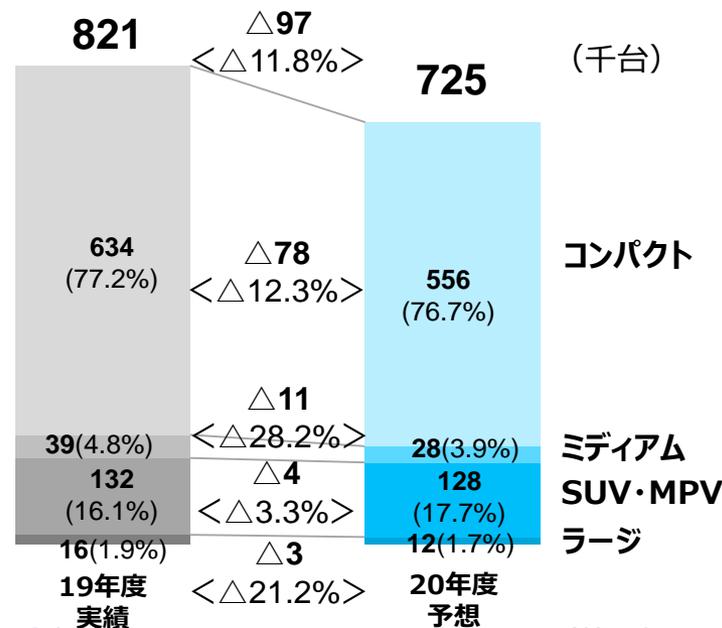
(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	3,338	3,200	△138
営業利益	336	320	△16
営業利益率	10.1%	10.0%	-

### 欧州・アフリカ

コロナ影響による減産影響はあるが、諸経費の効率化や、前期に一過性の損失があったことなどから、増益の見込み

#### 台数・車種構成の変化



#### 当期の経営成績

(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	883	800	△83
営業利益	30	45	14
営業利益率	3.4%	5.6%	-

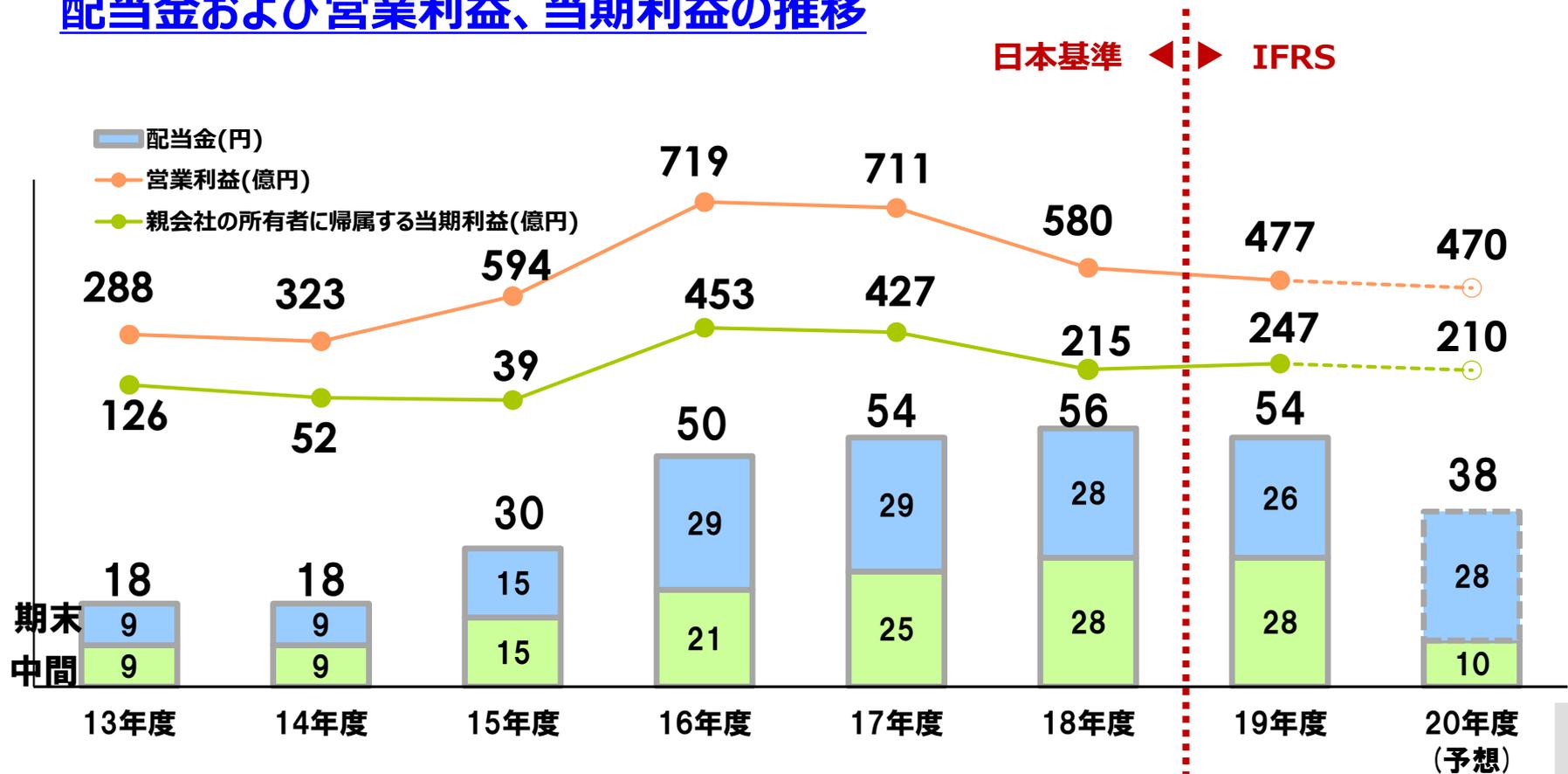
# スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、主にアセアン各国での減産はあるものの、中国での増産により前期比9万台増産の231万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比138億円減少の、3,200億円。
- ◆営業利益は、中国での増産影響はあるものの、アセアン各国での新型コロナウイルスによる減産影響などにより前期比16億円減少の、320億円となる見込みです。
  
- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比マイナス10万台の72万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比83億円減少の800億円。
- ◆営業利益は、新型コロナウイルスによる減産影響はあるものの、前期に一過性の損失があったことなどから、前期比14億円増益の45億円となる見込みです。

## 2-8) 2020年度 通期予想 株主還元

■ 期末は、長期安定的な配当を継続し(28円)、  
連結業績などを総合的に勘案し決定

### 配当金および営業利益、当期利益の推移



# スクリプト

- ◆次に、配当金でございますが、期末につきましては、  
連結業績などを総合的に勘案し、  
長期安定的な配当継続の観点などから、  
28円とさせていただきます予定です。

# 2-9) 2020年度 第3四半期決算 総括

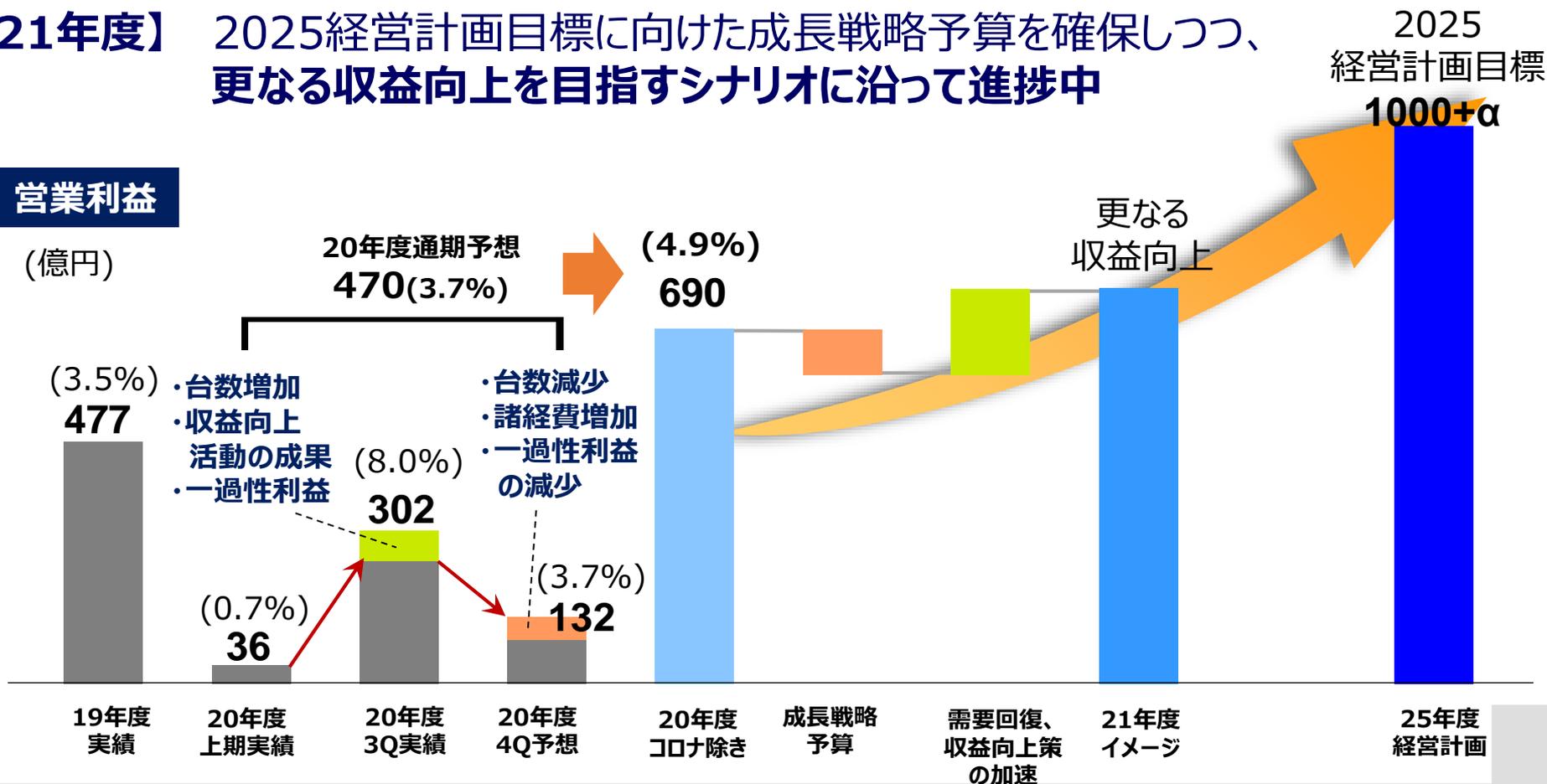
**【3Q実績】** 諸経費の効率化に加え、日本・アジアなどでの挽回生産による台数増加を含めた一過性要因もあり、**四半期単位では過去最高の営業利益**

**【通期予想】** 収益向上策を継続することにより、**更に収益力を向上**

**【21年度】** 2025経営計画目標に向けた成長戦略予算を確保しつつ、**更なる収益向上を目指すシナリオに沿って進捗中**

## 営業利益

(億円)



# スクリプト

- ◆最後に、当第3四半期決算を総括させていただきます。
- ◆当年第3四半期実績におきましては、諸経費の効率化に加え、日本・アジアでの急激な台数増加を含めた一過性要因もあり、四半期単位では過去最高の営業利益となりました。
- ◆一方、第4四半期は、第3四半期から台数が減少することに加え、第3四半期の一過性利益が減少することや、諸経費が増加する見通しであることなどから、減益となる見通しですが、通期では、全社を挙げた収益向上策を継続することで、更に収益力を向上させ、コロナ影響除きの営業利益は690億円となる見通しです。
- ◆来期以降は、将来に向けた成長戦略予算を確保する一方で、新しい働き方や、リーンな生産体制を基盤に、更なる収益向上策の加速を図り、持続可能な成長を目指してまいります。
- ◆以上をもちまして、2020年度第3四半期の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

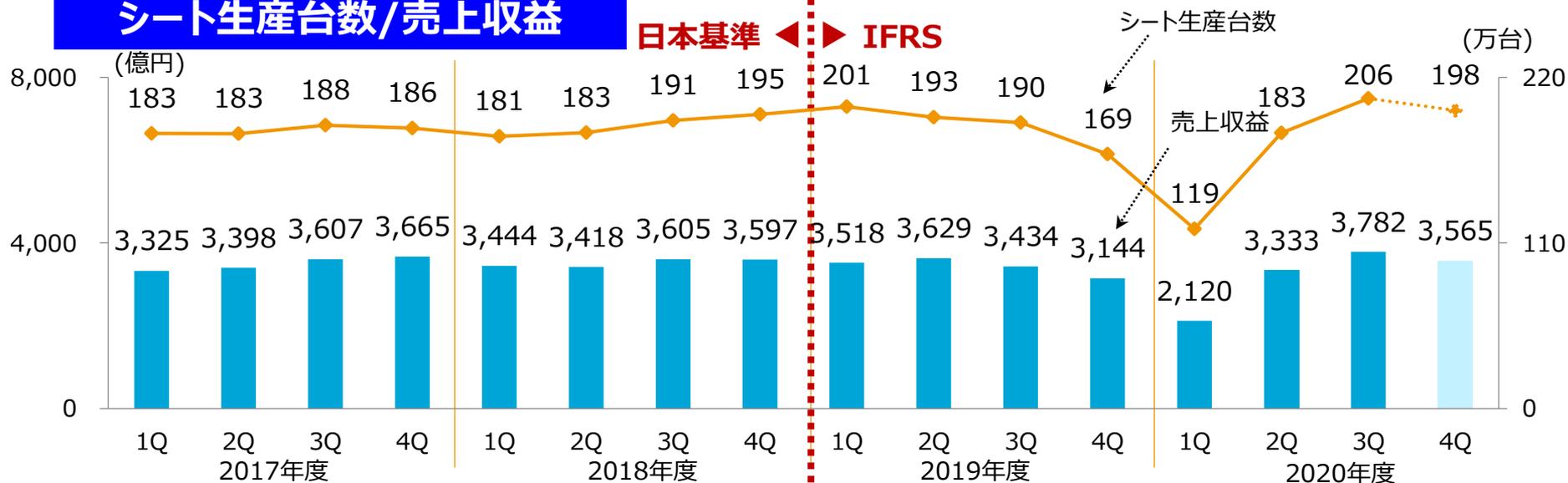
# 目次

1. 2020年度第3四半期 決算状況
2. 2020年度通期 業績予想
- 3. 参考情報**

# 参考1) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

日本基準 ◀ ▶ IFRS

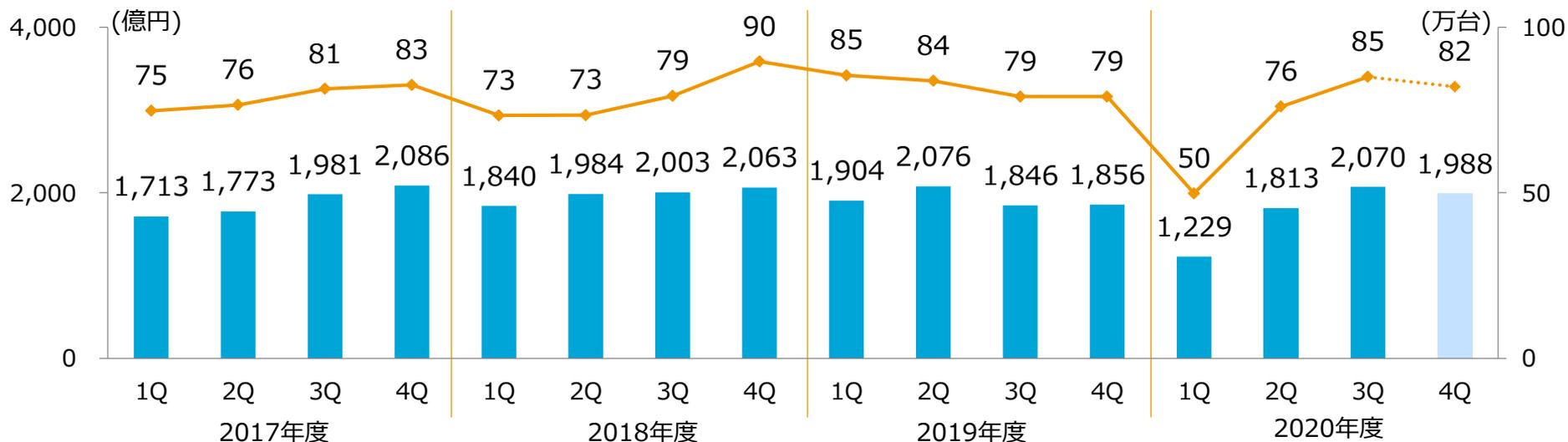


## 営業利益/営業利益率

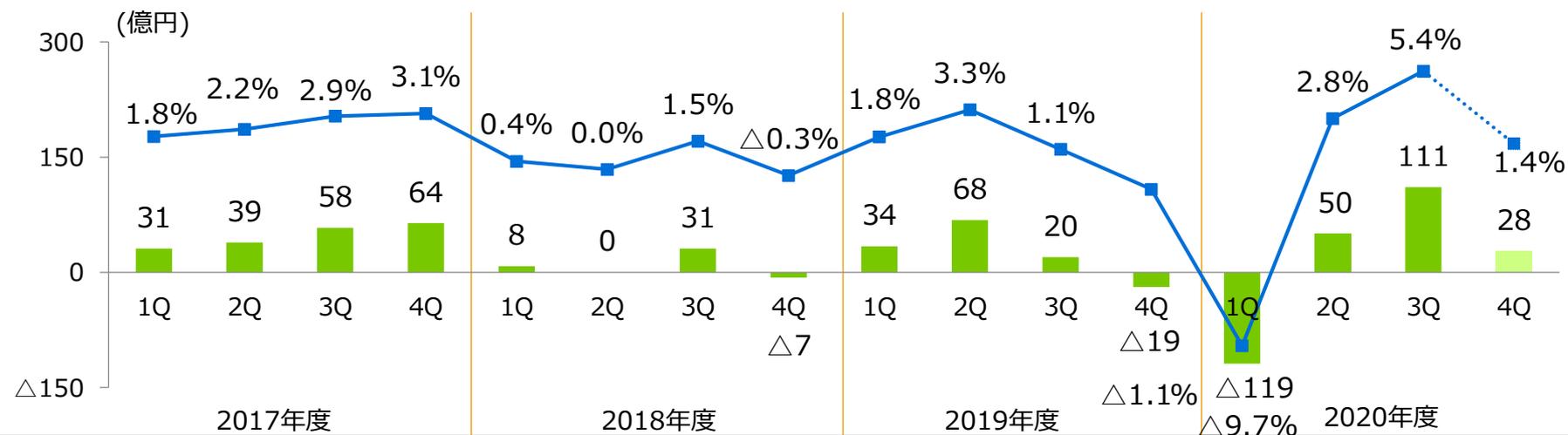


# 参考2) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

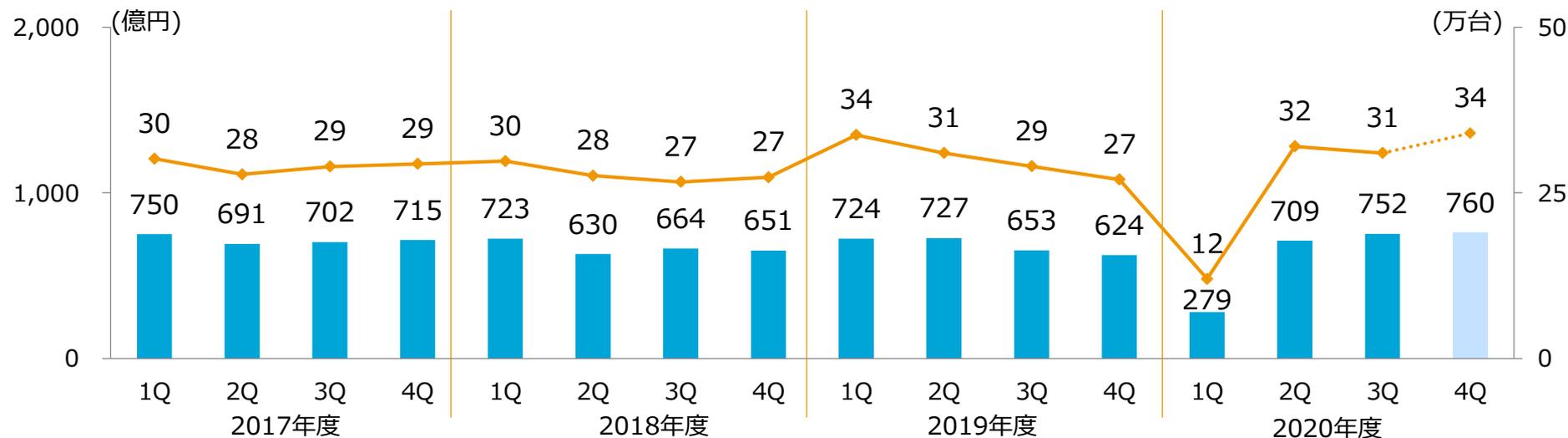


## 営業利益/営業利益率



# 参考3) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

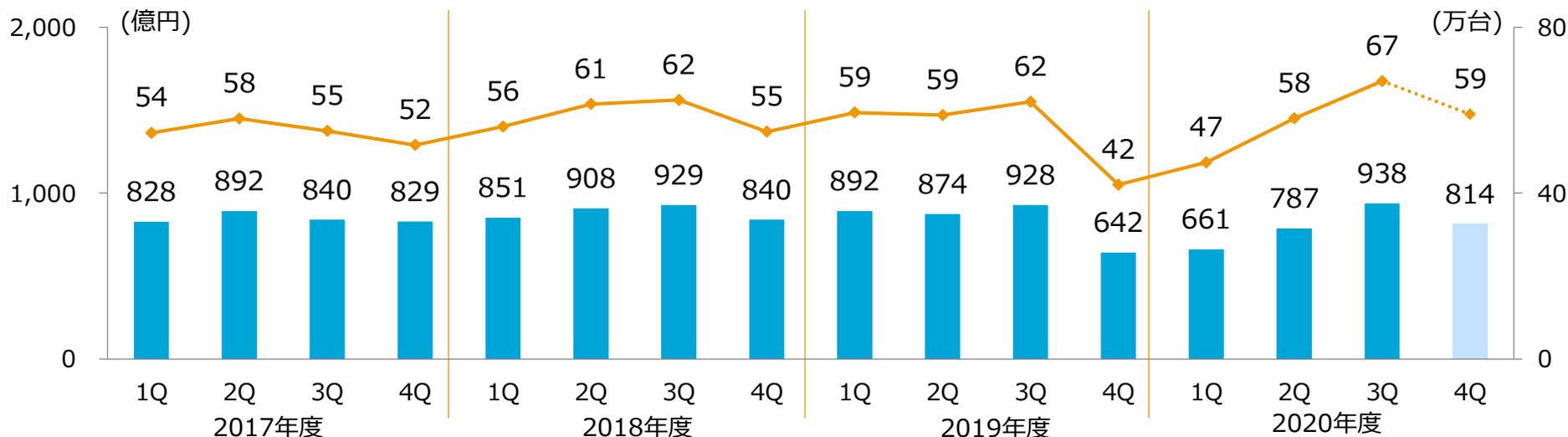


## 営業利益/営業利益率

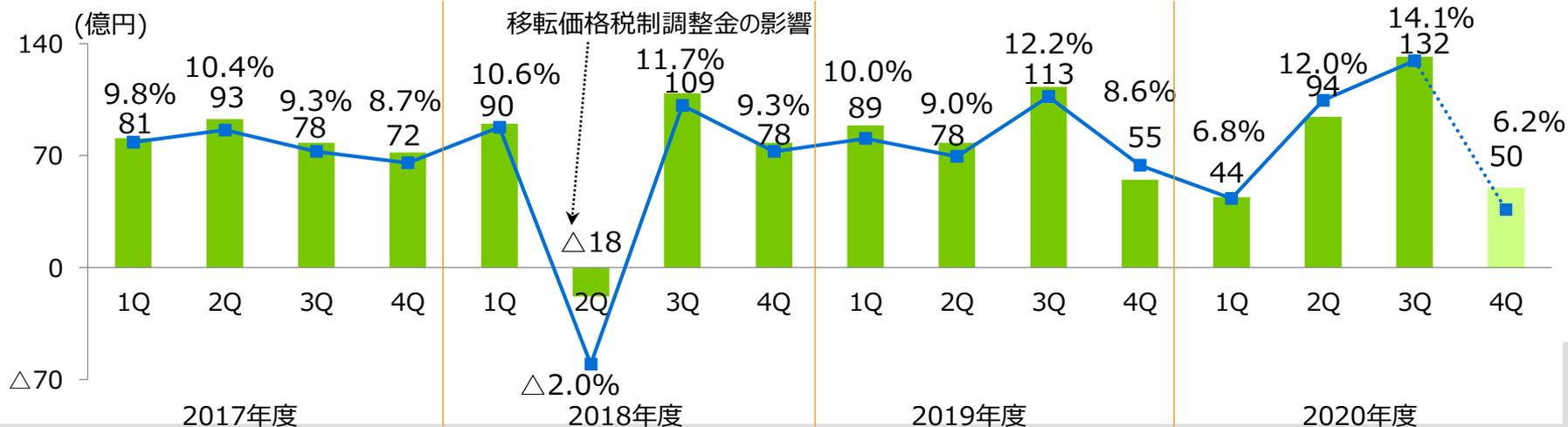


# 参考4) 四半期推移 アジア・北アニア 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益

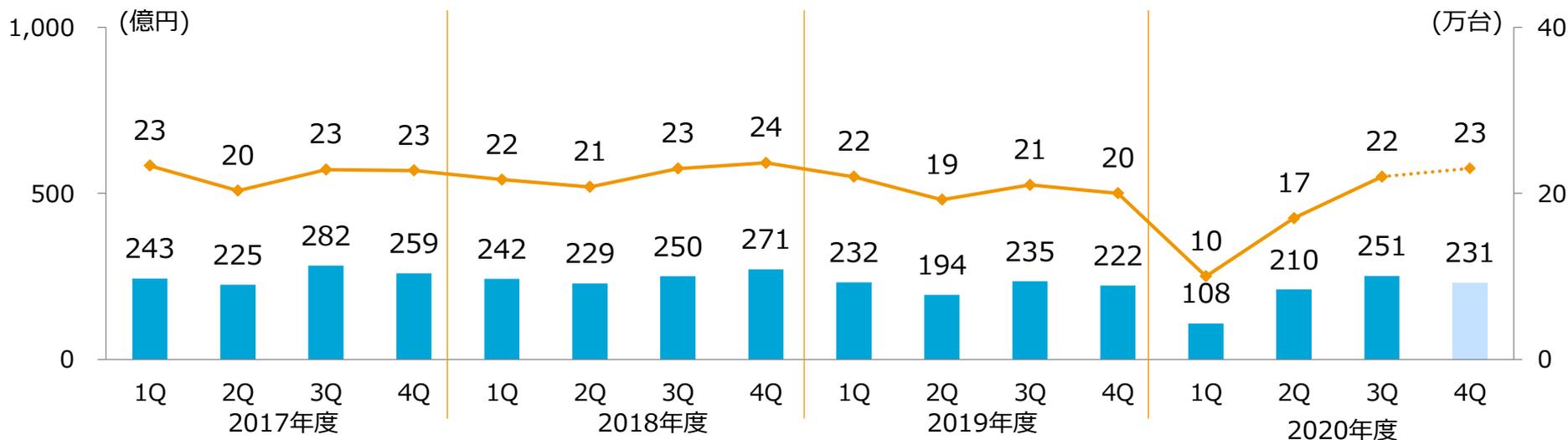


## 営業利益/営業利益率

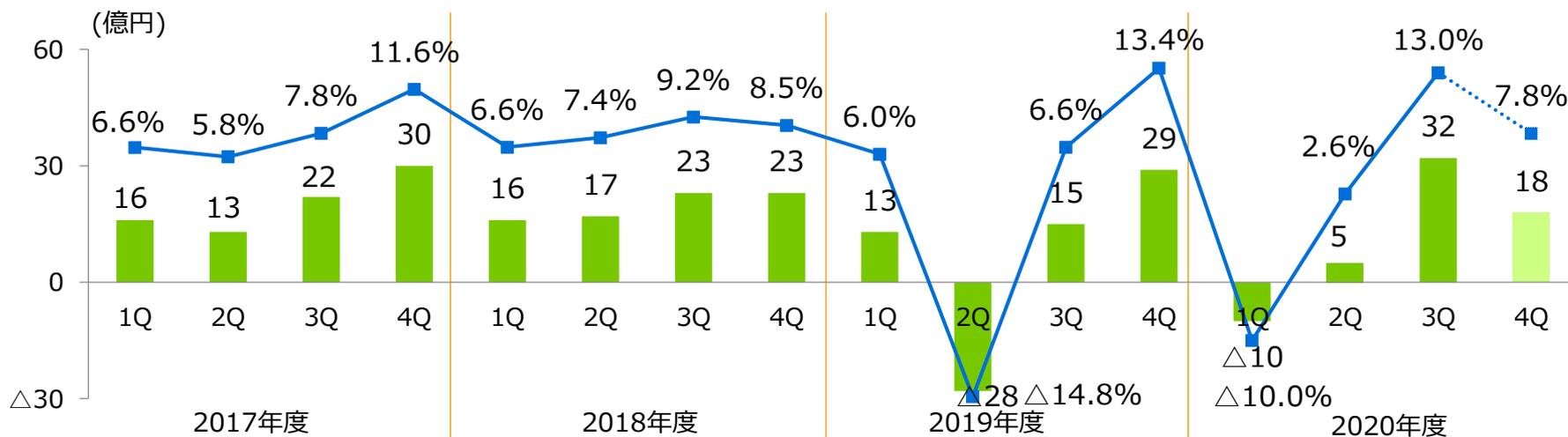


# 参考5) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

## シート生産台数/売上収益



## 営業利益/営業利益率





**<注意事項>**

**本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。**

**そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。**